

<p><b>科目名：臨床実習Ⅱ＜総合歯科＞</b></p>		<p>必修</p>	<p>1単位(45時間)</p>	
<p>(Clinical training Ⅱ)</p>				
<p>履修年次/時期：3年次 前期</p>		<p>授業形態：実習</p>		
<p>主担当教員：角田 晃</p>				
<p>主担当教員詳細：</p>				
<p>担当教員名：長谷 徹, 林 昌二, 池中 僚亮, 井出 桃, 金子 和美, 阿部智子</p>				
<p>学修目的</p>	<p>歯科衛生士業務を実践するために1・2年次で学んだ知識技術をもとに、より臨床に対応できる能力を修得することを目的とする。</p> <p>関連するCP： CP3,CP4,CP6</p> <p>科目No. S3C13H07</p>			
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	-	
		<p>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	○	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	-	
		<p>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	◎	
		<p>(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	-	
	<p>3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p>	<p>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	-	
		<p>(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	○	
		<p>(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	○	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>1. 診療内容を理解できる。 2. 適切な歯科診療補助ができる。 3. 適切な歯科予防処置ができる。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>歯科衛生業務を適切に実践する能力を養うために、臨床実習の間では実際に体験することが難しい実習内容に関して、症例検討を加えながら実習を行う。</p>			
<p>授業計画</p>	<p>(実習場所) 第1, 2, 3実習室</p> <p>(実習方法)</p> <p>(1)バキューム・ライティング操作 (2)光重合型コンポジットレジン修復 (3)印象材取扱い① (4)印象材取扱い② (5)スタディモデル作製 (6)個歯トレー作製① (7)個歯トレー作製② (8)消毒法、滅菌法の実際 (9)SRP (10)頭部X線規格写真分析法 (11)歯内治療の実際①(使用薬剤、器具) (12)歯内治療の実際②(根管拡大・根管充填) (13)暫間被覆冠作製①(作製、仮着、セメントアウト) (14)暫間被覆冠作製②(作製、仮着、セメントアウト) (15)シャープニング、総まとめ ※上記の項目は実習室や準備の都合で進度が前後することがあります。 実習進度表を必ず確認してください。</p>			
<p>評価方法</p>	<p>本試験80%、レポート等提出10%、受講態度・実習態度10%で総合的に評価します。 ルーブリック 試験に対するフィードバックは口頭で行う。</p>			
<p>教科書</p>	<p>すでに購入した関連科目教科書</p>			
<p>参考書</p>	<p>臨床実習科目で使用した教科書全般</p>			

オフィスアワー 連絡先	長谷 徹:(月・水・金) 12:00~12:30、16:00~17:00 nagatani@kdu.ac.jp 4号館 2F(長谷研究室・臨床基礎統合ゼミ準備室) 角田 晃:(月~金) 12:00~12:30、16:00~17:00 tsunoda@kdu.ac.jp 4号館2F(角田研究室) 林 昌二:tuebingen369@gmail.com 金子 和美:(月~金) 16:00~17:00 kaneko.kazumi@kdu.ac.jp 3号館2F(教員研究室) 阿部 智子:(月~金) 16:00~17:00 t.abe@kdu.ac.jp 3号館2F(教員研究室) 不在時はメールで連絡をお願いします。
----------------	---